

しんろだより

令和4年12月9日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

本校生の高等部卒業後の進路としては・・・

- 企業就労：障害者雇用（特定子会社含む）
- 企業就労に向けた職業訓練：京都障害者高等技術専門学校など
- 福祉就労：就労移行支援、就労継続支援 A 型、B 型、生活介護、自立訓練（生活）
- 専門学校など進学 があります。

今年度の進路指導は、おおよそ次のように段階を踏んで行っています。

小学部段階：全授業を通して、体作り、コミュニケーションの基礎、学習の構えなどを育む。

中学部段階：より主体的に、仲間と繋がりながら活動すると同時に「総合的な学習の時間」での進路学習、「作業学習」の授業で働くことのイメージを具体的に掴んでいく。

（保護者への進路学習会・説明会なども中学部から行っています）

高等部段階：「職場見学」、「校内実習」、「校外実習」が1年生からスタート。具体的な進路先を見越した取り組みの中で、課題を見据えて力をつける。

先日の保護者アンケートで希望がありました、本校の進路指導の概要を掲載します。

★★★各学部の取り組み紹介★★★

小学部1，2組 自立活動（コミュニケーション）

学校生活全体にわたり、自立活動のコミュニケーションの視点に重点を置いた学びをしています。その中で大切にしていることは、「相手に伝わる方法で伝える」ということです。「自分の思いや要求が相手に伝わった」という経験を積み重ねていくことで、「もっと伝えたい！」という気持ちにつながると考えています。伝え方は、児童によって様々。言葉、ジェスチャー、カード、VOCA という機器（よく使う言葉を録音しておき、ボタンを押すと再生される）を使って伝える児童など、児童の実態に応じたコミュニケーション手段を選択できるようにしています。日々の積み重ねの中で、「相手に伝わる方法」で要求を伝えられる児童が増えてきました。

どの進路先においても、まず挨拶や、要求・ヘルプが出せることなど、身近な人との間で基本的な自己表現ができることが求められます。小学部の段階で、各自に合ったコミュニケーション手段や人とやりとりをする楽しさや安心感をしっかり育みたいです。



手を合わせるジェスチャーで
「お願い」、「手伝って」と
伝えています。



使いやすいおにぎりサイズの
VOCA でチャレンジ！

中学部(1、2、3組) 作業学習

作業学習では、単に机上での作業をすることのみにとどまらず、材料集めや準備と片づけ、製品お渡し会、時に販売プロモーション活動(広告チラシ作りや看板作り)など仕事に関することを多岐に渡って、体系的に学んでいます。

様々な活動を通して、仕事へのよいイメージを持つことや働くことの楽しさや喜びを知ることをねらいにし、友だちと協力したり、お客さんに喜んでもらえたりすることを知る機会として、位置付けています。

現在は、染め紙・消臭袋班とアルミボール班とに分かれて、作業を進めています。自ら進んでコーヒー殻を袋に入れたり(染め紙・消臭袋班)、作ったアルミボールを「今日は〇〇先生に渡す」と期待感を高めて、渡す姿が見られています。



高等部(1、2組) 作業学習

1、2組の作業学習では1年を通してお皿の制作を行っています。役割を分担し、製品を作る活動を通して、卒業後の進路先で作業する力につなげています。

粘土に型をつける、粘土を乾かす等の活動を、それぞれが得意なスイッチ操作で機械を動かしながら行います。工夫しながら自分で形を作るとともに、自分の役割を果たしみんなで1つの製品を完成させる中で、達成感や充実感を得ることをねらいとしています。

1年生にとっては初めてのお皿制作でしたが、繰り返し取り組むことで徐々に作業が定着し、自発的に取り組むことができています。3年生はこれまでの経験を生かして意欲的に活動に取り組み、後輩を引っ張っていく姿が見られています。

